

# 砂丘をもっと豊かな滞在の場に！

— 上質化ワーキング会議がいよいよスタート —



**11月中旬には上質化事業の全貌が見えてきます。**

鳥取砂丘未来会議（松原雄平会長）が設置した「上質化ワーキンググループ」のメンバー8名が集まり、2019年9月27日（金）に砂丘ビジターセンターで、砂丘のインバウンド対応や滞在体験の場を魅力的にするための話し合いの場、「第1回上質化ワーキング会議」が開催されました。会議の座長には林浩志さん（商工会議所事務局長）が選出され、専門家による国内外の事例紹介や、東西で想定されるターゲット、空間のスケール感、歩行者動線の考え方、利用拠点の設定などについて話を聞いたのち、意見交換を行いました。2時間があったという間に過ぎる会議になり、会議終了後もそれぞれに熱気を帯びたやり取りが会場で続いていました。

## 豊かな滞在のカギは 歩きやすさにあり！

砂丘エリアの東側は、コンパクトな滞在時間の中で集約的な体験が楽しまれており、その気運を盛り上げる建物などの外観意匠の改善が求められます。西側は特別な時間や体験をして過ごしたい人を対象にスマートで親密でスローな滞在型の空間整備により、鳥取砂丘周辺地域の観光ハブになることが期待されています。

さて、人が快適に歩ける限界距離は、健康な大人で400mとされています。高齢者や子供、高低差があるとその距離がもっと短くなります。砂丘エリアの東西を比較すると、平坦な東側は主要道路に面して施設や駐車場が配置され、ほぼ400m圏内に施設が収まっています。

## 利用拠点の設置で 新たな提案が！

西側は施設が分散して配置されているうえに、高低差が大きく、各施設への歩行接続が大きな課題となっています。

東側は、その中心部に位置するビジターセンターが利用拠点として位置づけられますが、西側は、人間工学的に見て2つの利用拠点を設ける必要があります。1つの拠点は砂丘パレス跡地付近とし、アッパーミドルをターゲットとした滞在ゾーンに、もう1つの拠点はサイクリングターミナル付近とし、地元もターゲットにした遊びと学びのゾーンとすること、そしてその2つの拠点を有機的につなぎ、機能を再編集していく事が専門家より提案されました。



専門家が東西の空間特性を正確に説明しました



参加者全員が質問や提案を語りました

環境省の源関自然保護官から、上質化事業の補助内容とそれによって地域にもたらされるメリットの説明がありました。

**事業内容**：上質な滞在環境の創出とインバウンド促進のため、国立公園利用者向けの施設の整備改善等を、国・地方公共団体及び民間事業者が同時一体となって推進するものです。今年度は、上質化ワーキンググループ会議で、上質化事業の計画である「利用拠点計画」を作成します。

- ・ 廃屋の撤去：跡地への新たな民間事業者の導入を前提とする廃屋等の撤去
- ・ インバウンド機能向上：外国人旅行者が立ち寄る商店等のWi-Fi、多言語サイン、トイレ洋式化
- ・ 文化的魅力の活用：魅力的なまちなみとなるための商店等の建築外観、外構、建築設備等の修景

**メリット**：砂丘エリアや多鯨ヶ池エリアに施設を所有される事業者の方が、上記の事業を行う場合、必要な経費の1/2の補助を受けることができます。旅行者の満足度向上、滞在時間の増加、リピーターの確保などの効果が期待できます。

## 今回の会議で議論したこと、提案されたこと

- 西側エリアのメリットは静かで豊かな自然環境。ネイチャーフィールド、冒険感のあるフットパスなどの自然を活かした施設や整備をおこなってはどうか。
- 西側エリアは地形の高低差があり、歩行者への負担が気になる。多少の高低差があっても歩道があり、木々の日陰もある歩きやすいプロムナードを整備してはどうか。
- 砂丘入口の階段を上ったところにある「NO!」の看板（東側）は砂丘の雰囲気壊している。気分を損ねる海外の方もいる。携帯端末を上手く活用できれば禁止看板は減るのではないか。
- 仮にサイクリングターミナルを拠点と想定する場合には様々な取組みの必要性を感じる。
- 東西を行き来する移動手段の整備が必要であり、砂丘全体で考える必要がある。

皆が合意したこと

砂丘の東側エリアに1箇所、西側エリアに2箇所の利用拠点を設け、それぞれのエリアの特性や個性、魅力を大切にしつつ、相互に補完しあえる一体的な計画をつくっていく。

参加者が提案し、計画をつくり上げる場になってゆきます！

## 次回第2回会議開催のご案内

日時 10月16日（水）

13：00～15：30

場所 鳥取砂丘ビジターセンター

上質化事業に関心のある事業者の方お待ちしております。オブザーバー参加を希望する方を歓迎します。

## 問合せ・参加申込み先

鳥取市観光経済部

観光・ジオパーク推進課

TEL： 0857-20-3036

FAX： 0857-20-3046

E-mail： kankou@city.tottori.lg.jp

担当： 米澤、谷島まで